

第5回アンチキルケばか詰作品展

解説編

(3/2 改訂版)

開 催： 平成18年 2月 1日

解答締切： 平成18年 2月25日

解答発表： 平成18年 3月 1日

たくぼんの解図日記

<http://takubon-tumeshougi.269g.net/>

アンチキルケばか詰入門

<http://www2.dokidoki.ne.jp/takuji/tumeshougi/AntiCirce.html>

(3/2 改訂・・・手順表記を変更しました)

初級の部

初1. 小峰耕希 作

アンチキルケばか詰 3手 正解者 9名

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						馬	飛		▲なし
								王	
						馬			
						雀			

【詰手順】

2二飛生 1一玉 2一飛成 迄

【解説(のよなもの)】

今月のテーマは”不成”でしたが、本作は飛角図式と不成を上手く組み合わせた小品です。

最終手 12 飛成でも同じに見えるところが作者の仕掛けた罠。これがかしこ詰であれば誤解者が出たのは間違いないでしょう。12 飛成では同馬と取られ 22 に馬が復活することで両王手から見事に逃られます。上手い！

【短評】

橋本孝治「最終手にさりげなく罠が…！」

若林「最終手 12 飛成の紛れで作品になっていますね。良いです。」

☆作意よりこっちの逃れ筋の方が評判がいいですね

隅の老人 B「これは一目。これで、後の問題を解く気になる。」

伊達 悠 「1二飛成は毒饅頭。両王手を回避する同馬/2

二馬はよくできた配置。」

吉川慎耶「左右反転でもう1作出来そう。」

☆するどい指摘！第6回をご覧ください

小五郎「これ以外で詰まないのが不思議。」

小峰耕希「たくぼんさん以外では初級問題作家第1号！でも殆ど推敲をせずに出したので、出題開始まで存在を忘れてた(^_^;)33は馬と角ではどちらが良いのかよくわかりませんが、詰上りの図柄を優先して馬にしてみました。」

☆ほとんど投稿がないので小峰さん助かります

北村太路 「不成というテーマがなければわからなかったかも。守備駒が強くてなかなか大変でした。飛角図式は作者の工夫が窺えますね。」

もず 「12 飛成とすると同馬/22 馬。危ないところ。左右反転でツインにしたら、ちょうどいい入門編ですね。」

☆これまた鋭い！第6回をご覧ください。

初2. たくぼん 作

アンチキルケばか詰 5手 正解者 9名

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
						馬	歩		▲角
			香						
								雀	
						王			
								桂	

【詰手順】

4 四角 同桂/2一桂 2一歩生/2七歩 1六玉

2八桂 迄

【解説(のよなもの)】

【詰手順】

58 金/49 金 57 玉 59 香 58 金 同金/69 金 67 玉
77 金 迄

【評価】

自力正解者・・・10 名

A・・・3、B・・・3、C・・・2 平均点・・・2.13(6 位)

お気に入り投票 : 0

【解説 (のよなもの)】

きれいな横一文字の初形です。今までアンチキルケで初形曲詰は記憶にないので (最近ボケが始まっているので当てにならない記憶ですが) 第 1 号局かもしれません。

そして手順も難しくはないものの金の左右への復活を織り込み充分鑑賞に堪えられるものに仕上がっています。これ以上手を加えることの必要がない完成品と言えるでしょう。

特に使用駒に呼応した金合が美しいです。今回唯一の全員自力正解の作品で、今までの北村ワールドとは異なる一作です。

【短評】

橋本孝治「初形「一」から、金の左右への復活。完成度の高い小品だと思います。A」

☆オリンピックのフィギアスケートに習って評価すると「技術点：満点」って感じかな

若林「5 筋からの両方復活。初形も含めて 1 番としては充分でしょう。B」

隅の老人 B「持駒が無いので楽と思ったら、合駒とは。金の動きが楽しい。B」

伊達 悠「金の反復横とび。解後感が良いです。A」

吉川慎耶「手順ともがいい。B」

小五郎「5 筋の駒取り、あっちに戻ったりこっちに戻ったり。」

小峰耕希「この手順としては初形・枚数における決定版か? とはいうものの、いざ採点するとなると…。C」

☆評価は難しい作品と言えます。皆さん見る視点が違うのでバラバラでした

北村太路「攻方金の両側復活で、合いも限定になっていますが、合駒金なので当たり前か。3 八に駒がなければなあ。手順も初手絶対手から、簡単すぎるし。(絶連というやつか。) 面白みも全くないし。C でいいか。」

☆よくありません (笑)

もず「汎濫の逆バージョンですね。これだけ簡素な配置 (しかも「一」) で実現できるとは。作意は見えやすいですが最短手数でやりたいことができていところに好感が持てます。A」

☆ねっ北村さん。こんなに褒められてるんだから

短2. もず 作

アンチキルケばか詰 7 手



【詰手順】

67 飛 57 飛成 73 角 64 金 同飛/28 飛 46 龍

47 金 迄

【投稿時・作者コメント】

こんなものしかできていなくてすみません。

【評価】

自力正解者・・・7名

A・・・3、B・・・3、C・・・0 平均点・・・2.50(3位) お気に入り投票 : 1

【解説 (のようなもの)】

51を抑える方法を考えると初手15角に目が行くが、2六合も3六玉も全然手が続かない。玉のバックの香部隊が強力すぎる。そして少し上級者になると目に付くのが87飛～91角の攻め方です。玉方飛車が何か駒を取って82復活合のパターンは攻め駒がたりませんので、たとえばこんな筋：87飛 57飛成 91角 82金 同飛/28飛 46龍 47金 迄

お～詰んだヤンと思ったら51が抑えられていませんでしたので同玉/51玉でダメでした。

しかしここにヒントが・・・最後91角の位置が73であれば詰むことに気が付けば”わかった！”でしょう。初手と3手目の複合限定打が見た目にすごく中途半端な位置に感じる為、意表を突かれた感じですね。

それと2手目の飛成もポイントを稼ぎました。最近は常識の不成より成る方が好評価が得られることがままありますね。おもしろい傾向です。王配置で駒数を少なく出来たのと狙いを端的に実現している点で解答者には好印象でした。(注)作者の登場回数が間違っていました。8回が正しい回数でした。

【短評】

橋本孝治「てっきり87飛～91角だと思ったので少し裏をかかれました。さすがに同じネタばかりはやらないか。B」

☆私も同じでした

若林「限定打2連続。B」

隅の老人B「2度の移動合。アンチキルケの妙手が、いっばい。A」

☆移動合の方に目が行くのはマニアっぽいです

伊達 悠「初級の部に反して成りましたか。最初は不成で解いて苦戦。B」

☆うんうん！それが普通です

小峰耕希「このルールでは当然とはいえ、これだけ綺麗に限定してくれると解後感が良い。A。」

☆「解后感」皆さん単語登録してますか？私はしています

北村太路「第1印象はどうやっても詰みそう。実際さわってみると、どうやっても逆王手がかかる。自玉がすごいジャマ！そして、手順は初手限定打。この意味付けはいままでありましたっけ？2手目の成限定も決まって、アンチキルケらしい面白い手順でした。(FM使用)A」

☆ポイントは初手というより3手目の角の位置なんです、それにより初手の位置が決まるということですね

もず「氾濫の自作の余詰筋に着想を得ました。15角の紛れ筋を残すようにしたのですが、その代償として逆王手逃れを強力に使うことになってしまいました。自玉が詰め上がりに役立っていないのは大目に見ていただければと思います。」

☆言われて気が付きました

短3. たくぼん 作

アンチキルケばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲なし
							王		一
				飛					二
					王		銀		三
				王					四
					銀		銀		五
									六
									七
									八
									九

【詰手順】

46 銀 36 玉 45 銀 35 玉 44 銀 34 玉

53 銀生 43 玉 42 銀成 迄

【評価】

自力正解者・・・8名

A・・・3、B・・・3、C・・・0 平均点・・・2.50(2位)

お気に入り投票 : 2

【解説 (のようなもの)】

初手から 46 (36) 銀 36 (46) 玉 35 (45) 合 同銀 /39 銀の紛れを誘いにした作意は楽しめる銀の単独行作品です。当初の予定は銀は最下段から行く予定でしたが、余りにも余詰防止駒が多くなりすぎて断念しました。銀の動きに楽しんでいただければ作者冥利に尽きると言えましょう。銀と玉以外動かないのも狙いの一つでした。解答者側からの心理を考えて創ってみましたので (私の作品はだいたいそうかもしれませんが) 合駒から読んで苦労しましたと言う感想に思わずニヤリとしたことは内緒です。

【短評】

橋本孝治「まさか銀のジャンプを作意にしないとは…完全に意表。考えてみれば、5筋の利きを保持するというので、これも理にかなった手順には違いないですね。A」

☆最近まっすぐな表現の作品が出来てないひねくれ者なんです

若林「飛のスイッチバックから考えたので苦戦。全着手銀はお見事。A」

☆実力者2人を悩ませたので本望です

隅の老人B「飛の利きを避けての逃避行。アンチキルケならではの、詰上がり。B」

☆深読みせずに解くと簡単なんでしょうね

伊達 悠「持ち駒が無いので考えやすかったです。B」

☆う～む複雑な心境だ

小五郎「合駒問題かとかなり悩みました。一直線に進む銀、勇ましい！」

☆小五郎さんを悩ませたのは心が痛みます。

北村太路「中空に浮かび周りに守りが控えていて全くどう手をつけていいかわからず。・・・まさか、飛の利きを跨ぐとは！！出題も、一度玉を逆方向に進める手も加えて、ただ銀だけで追うのではなく開き王手を絡め、銀の特性を最大限にいかして不成までしつつ、最後は成っちゃう。これは楽しい。完璧。A」

☆うれしい短評です。(涙)

もず「銀がひたすら上に行くだけとは意表を突かれました。馬や合駒を取る筋ばかり考えていて非常に苦労しました。B」

☆Aが3つにBが3つ、短評も両論あり・・・どうなってるんでしょうねえ。

短4. 吉川慎耶 作

アンチキルケばか詰 9手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
			銀						▲ 角 桂 歩
					皇				
		銀	桂	皇	皇	歩	銀		
				王					
			歩	金	歩	香			

【詰手順】

55歩 同桂/21桂 81角 63桂 65金 44玉

55金 同桂 56桂 迄

【評価】

自力正解者・・・4名

A・・・5、B・・・1、C・・・0 平均点・・・2.83(1位)

お気に入り投票 : 2

【解説 (のよなもの)】

お気に入り投票では短5にトップを譲ったものの、ABC評価ではダントツの1位。そして自力正解者たったの4名と言う超難解作でした。

余詰防止の駒が多くなりましたが、手順のすばらしさがそれを少しも感じさせません。

初形から51を抑えるのは難しそうですので桂吊るしの詰上りは思いつくところですが、それを実現するのはそう簡単ではありません。初手の歩打はまあやってみるところですが2手目桂で取った時の復活位置がまず考えどころで先の狙いを見越した21への復活がポイントです。そして狙いの81角！桂の復活場所を消す限定

打です。そして次の63桂合が一度消した桂がまた現れたかのような手順で、収束65金～55金でその桂を「退路封鎖+角筋通し」で動かして桂吊るしの詰上り。その同桂を復活させない為4手目までの手順が必要というわけです。まさに9手全てが好手と言える傑作です。今回も作者と何回かのメールのやり取りの末で完成した作品ですが、当初のものからするとかなりグレードが上がった作品に仕上がりに私も嬉しいところです

【短評】

橋本孝治「いや～、やっぱり短3の後でこれを解くと、実に「素直」に感じます。構想がダイレクトに表現されていて好感が持てます。A」

☆さりげなく3番のいやみが・・・でも当たってる若林「これは凄い。配置のごつさに負けない手順。桂吊るしの中で最高の作品でしょう。A」

☆絶賛！この配置を上回る手順ってなかなか難しいはずが・・・

隅の老人 B「81角打が桂合の妙手を生む。戻るに戻れず、残念ですね。B」

☆桂の気持ち痛みほど伝わってきます

伊達 悠「白旗。FMを使いました。詰上りは桂馬でしたか、いや一予想できませんでした。A」

☆伊達君も次以降主力で頼みます

吉川慎耶「今回は余詰だらけの図にたくぼんさんに余詰消しの駒を置いていただき、推敲出来ず（棋力不足です。）にそのまま出展という形になってしまいました。

（作意に関係しない駒だらけなので解答者の方々には辛いかも。）たくぼんさん・解答者の方、すみませんでした。次回からはその様なことがないように気を付けたいと思います。」

☆と作者は言ってますが、解答者からは絶賛の嵐！私もうれしい！

北村太路「戻られると詰みそうにないが、戻さずに詰ます方法がわからない。そして手順を見てみると・・・！！どかした桂をもう一度同じところに打つ！五六金は邪魔になったので捨てる！ムシのいい手順が見事にできています。この発想は素晴らしい。(FM使用) A]

☆ムシが良すぎる手順です。構想の勝利。

もず「だいぶ考えたのですが解けずに f m に教えてもらいました。桂の復活位置を両方埋めるという構想がすごいですね。63 桂を跳ねさせてから 63 桂を合駒するのが美しいです。

余詰防ぎの駒がたくさんあるのが難点ですが、それを補って余りある手順だと思います。(FM 使用) A]

☆もずさん唯一の無解です。63 桂跳～63 桂合は美しい手順と私も思いました。

短5. 太郎@神無一族 作

アンチキルケばか詰 13 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
					馬				一 ▲
			飛						二 香
馬									三
			飛						四
									五
								王	六
									七
									八
									九

【詰手順】

19 香 18 香 同香/19 香 18 香 同香/19 香 28 玉
29 香 19 玉/51 玉 53 香 42 玉 52 香成 31 玉
22 香成 迄

【評価】

自力正解者・・・7 名

A・・・3、B・・・4、C・・・0 平均点・・・2.43(4 位)

お気に入り投票 : 3

【解説 (のようなもの)】

前回の北村作の 4 金合と同様のパターンですが本作は 2 連続香合です。手数から 2 枚取るのは想像できますが違う駒種だと順番が非限定になりますので同種駒 2 枚。

金とか銀とかが詰みやすそうに見えますのでその辺で悩まれた人も多かったかもしれません。作意は香合で 8 手目 19 の香を取って戻るのが最終手をするのに大切なポイントです。29 香を取ると最終手が出来ません。個人的には 52 香成が見えにくかったです。

それにしても悩まれた解答者が多かったようで正解者は 7 名でした。

【短評】

橋本孝治「前回の北村氏の 4 金合を連想して、余計な期待をしてしまいました。合駒は 2 回だけですが、完成度は高いと思います。B]

☆4 香作品～全種類も出てくるでしょうね。個人的には 7 種合(合駒順非限定 OK)の作品を見たいです。若林「綺麗な図面なんだけれど、解く立場としては普通に解けてしまう。飛角配置はどれくらい融通が利くのかな。B]

☆実は私も余り苦勞せず解けたのですが・・・感覚

の違いですかね

隅の老人 B「香合に 1 時間、 2 回で止めるのに 2 時間。

いろいろ考えて、大苦戦。 A」

☆手数的には 3 回までは可能ですね

伊達 悠「昨日の夜に、「桑田佳祐の FM (Free Mate ではなく、ラジオです) ワンダーランド～やさしい夜遊び」を聞いている時に突然ひらめきました。童謡の力は偉大なり。 A」

☆私の時代はオールナイト日本でした あのねのねや鶴光さん懐かしいな～

吉川慎耶「同種の合駒にすることで非限定がないのはお見事です。 B」

北村太路「初手だけ自力でわかりました (当たり前)。

1 九香を取らせることに思いが至りませんでした。金とか桂とか取ろうとしてたんですが、香 2 枚で良かったんですね。それにしても、さすが太郎さん、無駄がない配置。香 3 枚とも十二分に働いています。(FM 使用)

A」

もず「19 香を繰り返す形では完璧な表現ですが、今ひとつすっきりしないのは飛角を置いておかざるを得ないせいかもしれません。 B」

☆飛角合はかなり余詰が強力ですからねえ。仕方ないと言えば仕方ないか

短 6. 若林 作

アンチキルケばか詰 15 手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲なし
									一
									二
		飛							三
									四
							香		五
		龍	香						六
						玉			七
									八
王									九

【詰手順】

79 飛成 98 玉 68 龍 89 玉 59 龍 78 玉

48 龍 69 玉 39 龍 58 玉 38 龍/28 龍 49 玉

58 龍 39 玉 29 金 迄

【投稿時・作者コメント】

目的は見るからに一つ。

【評価】

自力正解者・・・8 名

A・・・1、B・・・6、C・・・0 平均点・・・2.14(5 位)

お気に入り投票 : 0

【解説 (のようなもの)】

合駒が取れないので思うほど紛れが少なく解き易い作品です。目的は金を奪う為の龍鋸です。龍鋸といいますと軌道で非限定が出やすいのですが玉があと追って付いてくることで見事に手順限定されています。この辺は当然とはいえ心地よいところです。収束もコンパクトにまとめられており一つの完成品でしょう。ただアンデパンダン出題の方がよかったかもしれませんね。

【短評】

橋本孝治「玉の移動を制限する初手の「成」には心理的抵抗がありました。少ない駒数で龍鋸を成立させているのが巧い。B」

☆最近は成がブームです

若林「保留作(作成昨年10月くらい)だったのですが、今見ると初手93飛成の紛れも入って、この駒数で龍ノコが成立したので悪くないと思うのですがどうでしょう？ 3手収束は弱いです。B」

☆収束は気になりませんでした

隅の老人B「楽しい竜鋸。長手数でも、趣向発見、意外と簡単。B」

☆楽しめると言う点では今回の短編の部ではNo.1かな
伊達 悠「ダブル鋸ですか。これが本当のノコノコ(?)詰。B」

☆ノコノコという表現がぴったりです

吉川慎耶「ほぼ一本道だけど面白い。B」

小五郎「竜ノコと表現してもいいのでしょうか、玉がついてくるようで面白い。」

北村太路「玉が後をついてくる龍鋸ですね。少ない駒で余詰を消して上手です。駒数と手数なので、少し地味なのはしょうがないかな。B」

もず「龍鋸はわかりやすいですね。手数を間違えていわずずっと悩んでいたのは秘密です。A」

☆秘密にしておきます

.....

【総評】

橋本孝治「お気に入り：短3. たくぼん作。手数に縛りがないというのは良いですね。超短編で高密度の手順というのも良いですが、そういうのばかりだと息苦

しくなるので。」

若林「今回は全体的に充実していましたね。お気に入りは短4で。」

隅の老人B「お気に入り 短5」

伊達 悠「短編お気に入り作；5番です。本当に悩みました。」

吉川慎耶「お気に入り作：短5。」

小峰耕希「③～⑥は解けませんでした。普段なら無解の分はf mに解を教えて貰った上で首位作を判断するのですが、今回は余りに多過ぎて面倒なので(笑)、②もずさん作に投票してしまいます。他の作家の皆さんごめんなさい(殆ど反省してないけど)。」

北村太路「短編：3番。一番いいのは4番かもしれませんが、自分の好きさ加減から言うと3番です。」

もず。「お気に入り作：短4」

【解答成績】

解答者名	1	2	3	4	5	6
橋本孝治	○	○	○	○	○	○
若林	○	○	○	○	○	○
隅の老人B	○	○	○	○	○	○
伊達 悠	○	○	○	△	○	○
吉川慎耶	○			○	○	○
小五郎	○		○		○	○
橋 圭吾	○	○	○		○	○
小峰耕希	○	○				
北村太路	○	△	○	△	△	△
もず	○	○	○	△	○	○

解答者数 10名 うち全題自力正解者 3名

全題自力正解者は3名と解答者の皆さんは苦戦でし

たね。4番と5番が難解だったようです。過去最低の全解者数は意外でした。

【お気に入り投票・結果】

今回のお気に入り投票は投票総数・・・8

順	No.	作者名	投票	無	A	B	C	平均
1	5	太郎@神無一族	3	3	3	4	0	2.43
2	4	吉川慎耶	2	6	5	1	0	2.83
3	3	たくぼん	2	2	3	3	0	2.5
4	2	もず	1	3	3	3	0	2.5
5	1	北村太路	0	0	3	3	2	2.13
6	6	若林	0	2	1	6	0	2.14

※順位はお気に入りP順（同点の場合は平均点上位順）

☆今回のお気に入りトップは太郎@神無一族さんでした。平均点トップは吉川さんです。太郎さんの安定感はずいぶん、吉川さんの成長は目を見張るものがありますね。次回も期待しましょう。

作品展・長編の部

長1. 神無七郎 作

アンチキルケばか詰 57手

	9	8	7	6	5	4	3	2	1	
▲	金	二	歩	九						
一	馬	龍	龍	龍	龍	龍	龍	王	王	
二	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	
三										
四										
五										
六										
七										
八										
九										

【詰手順】

21金 同玉/51玉 41金 61玉 51金 71玉
 61金 81玉 71金 91玉 81金 同角/22角
 92歩 81玉 91歩成 同馬 82歩 71玉
 81歩成 同銀 72歩 61玉 71歩成 51玉
 61と 41玉 51と 31玉 41と 同龍/82龍
 32歩 41玉 31歩成 51玉 41と 61玉
 51と 71玉 61と 同銀 72歩 同玉/51玉
 52歩 41玉 51歩成 同銀左/71銀
 42歩 同玉/51玉 52歩 41玉 42歩 31玉
 41歩成 21玉 31と 11玉 21と 迄

【詰上図】

▲	金	二	歩	九						と	王	持駒なし
	馬	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	龍	馬	王	
	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	歩	

【投稿時・作者コメント】

コメント：2×9の密集形。邪魔な駒を左辺に片付ける問題。

【評価】

自力正解者・・・5名

A・・・5、B・・・1、C・・・0 平均点・・・2.83(1位)

お気に入り投票 : 5

【解説 (のようなもの)】

今回も長編は七郎さんの趣向作です。七郎さんは謙遜

して B をつけていますが、その他の解答者はオール A の大絶賛。このギャップは一体……。作者コメントにもありますが、狙いは邪魔な中央の駒（おもに銀）を歩（と）を巧みに使って左辺に片付けることです。初形からはにっちもさっちも行かないので 21 金で 51 に戻し、41 金から玉を左辺に追います。まず 1 つ目のポイントはその金をどの駒に取らせるかですが、収束を考えて角に取らせるのが GOOD JOB！慣れた人なら 12 飛・22 角型で 21 とまでの収束が見えるかも……。そしてその後の 91 歩成 同馬が 2 つ目のポイントです。82 を空ける事でその後の 32 龍の移動が可能になります。その後はと金を上手く操って銀を左辺に片付けて行き、最後はきれいな雪隠詰めとなります。この辺の駒捌きは言葉で言うより盤に並べてみて下さい。ため息が出ること間違いなしです。それにしてもこれだけの内容にも拘らず初形が 2×9 の密集形+歩が 9 枚という美しさですから恐れ入りやの鬼子母神です。

【短評】

橋本孝治「さすがに今回の作は A をつけにくいです。B」
☆う～ん～これにコメントはつけにくい

若林「どうも序で銀をアンチキルケさせてしまうと続かない、ということに気付けばそれほど難しくはない。しかし龍角の入れ換えをしながら銀をアンチキルケさせずに左に動かしていく中盤の手順は非常に綺麗。歩 9 枚という枚数も美しい。A」

☆中盤がしびれました私も

隅の老人 B「一瞥、配置図に感心。解き終えて手順の巧妙さに、また感心。苦勞、苦勞で解けて、嬉しくなりました。A」

伊達 悠「すいません。解けてもいなく、稼働させる

と時間がかかりそうなので、FM も使っていません。できれば FM を使わずに回答します。できれば。

☆解けませんでしたか～解答を見てゆっくり鑑賞して下さい

小峰耕希「☆解図過程☆

★出題図を見てすぐに思ったのは、詰上りは 1 1 に玉を追い込んで 2 1（と）金までの形が有力だという事。この大方針に沿って読み進めたので、もしも勘が外れていたら迷路に入るところでした。

★とりあえず初手は 21 金の 1 手（余談ですが、初手と最終手の関連は偶然？）。

★2 手目は竜で取っても後が続かないので、玉で取って 51 に復元。

★以下空いた 22 に角（馬だと 21 とでは詰まないの）を復元させるべくもう 1 枚の金で玉を 91 まで追う。冒頭に金を 2 枚共使うのに抵抗もあったが、考えてみれば歩はすぐに金に出来るので大丈夫と踏む。

★次に玉を 31 まで追う訳ですが、この時に一工夫必要でした。まず 92 に打った歩を直後に成り捨てる。これは竜を復元させるスペースを作るものですぐわかったのですが、82 歩～81 歩成は予想外。「右王左追う」した挙句にやっと必要性に気付きました。そしてここを突破してからは、一気に答えに辿り着いたのです。

★更に 31 まで玉を追って、41 とで竜を先程あけた 82 に飛ばす。

★この後はもうわかっているの、71 まで玉を追ってから、61 と、同銀で 52 の地点をこじ開ける。銀で 71 を塞がないように操るのが肝要。★72 歩（72 をあけておいた効果！）、同玉/51 で玉を囲いから取り出す。

★そして 52 歩～51 歩成、同銀/71 で遂に銀の一掃作戦

完了！

★ここから収束に入る。42 歩～41 歩成で 51 を押さえれば良さそうなものだが、そうすると最初で作っていた大駒の壁のせいで手が続かないのが面白い。42 歩、同玉/51、52 歩、41 玉、42 歩、(中略)、31 と、11 玉、21 と迄。やった～♪

★長編が解けるといつも嬉しい。A。

☆参考になる感想です。ありがとう～

北村太路「この初形。綺麗ですね。そして、手順。歩だけで自由自在に受方の駒を動かすのがすごい。こんな器用なこと絶対できません。すごいよなあ。(FM 使用) A」

☆第 6 回作品展で貴兄にもこう言うコメントを言うことになりそうですよ

もず「銀は全部左に寄せないと詰まないことに気付くまでに時間がかかりました。歩の数といいこの初形といい、ぴったりまとまるものですね。A」

☆私にはこの作品を創る過程が全く見えてきません。

どうやって創ったのか教えて下さい

長 2. 北村太路 作

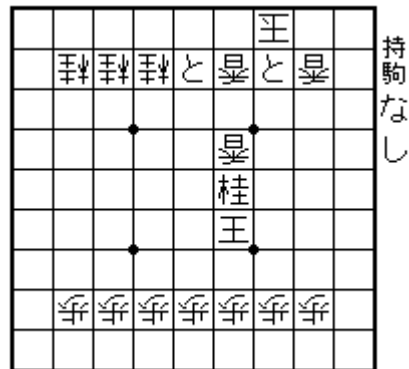
アンチキルケばか詰 65 手



【詰手順】

93 歩 81 玉 92 歩成 71 玉 81 と 61 玉
 71 と 51 玉 61 と 41 玉 51 と 31 玉
 41 と 21 玉 31 と 11 玉 21 と 12 玉
 11 と 13 玉 12 と 14 玉 13 と 15 玉
 14 と 16 玉 15 と 17 玉 16 と 18 玉
 17 と 19 玉 18 と 29 玉 19 と 39 玉
 29 と 49 玉 39 と 59 玉 49 と 69 玉
 59 と 79 玉 69 と 89 玉 79 と 98 玉
 89 と 87 玉 99 と/97 と 76 玉 86 と 65 玉
 75 と 54 玉 64 と 43 玉 53 と 32 玉
 33 歩 41 玉 52 と 31 玉 32 歩成 迄

【詰上図】



【評価】

自力正解者・・・8 名

A・・・1、B・・・6、C・・・0 平均点・・・2.14(2 位)

お気に入り投票 : 1

【解説 (のようなもの)】

以前もらったメールの中におまけで書いてあったものを無理言って長編の部に頂きました。北村さんありがとうございました。まあ競争向け作品ではありません

ので、楽しんでいただければ作者も OK でしょう。序からは第 4 回でおなじみの「と金追い」で 1 周まであとちょっとというところでショートカットして収束ですが、斜めにショートカットするところが忍者みたいでいいじゃないですか。

手数に関係なくこちらを 1 番にすればよかったですね。おもちゃ箱でいう”くるくる”級の楽しめる長編も募集していますのでよろしく。

【短評】

橋本孝治「何か仕掛けがあるに違いない…と思って解いたら、一番素直な順だったので驚きました。詰上りが象形っぽくて面白い。B」

若林「最初 78, 88 の歩を取る筋から読んでしまったけれど、非常に易しい長編。手数に拘らずこちらを長 1 にしたほうが良いかも知れませんね。31 玉型の還元玉 53 手も捨てがたい。B」

☆好みの問題ですね

隅の老人 B「鬼ごっこ、易しいが楽しい。こんな作品が大好きです。B」

伊達 悠「9 九とを取りに行くための鬼ごっこが楽しい。B」

吉川慎耶「エレベーターで降りて階段で上る。B」

☆上手い表現です。頂きましょう。

小五郎「と金をお供に王様の長旅。詰め上がり、二段目と八段目に綺麗なラインができますね。」

☆何か字に見えないことも・・・

小峰耕希

☆解図過程☆

★出題図を見て感じた事は、

①周辺巡りなのは确实。

②僕もこのルールの周辺巡りを作ろうとした事があるので言い切りますが、鶯図式なのは偶然ではなく意図的であろう。という 2 点。

★長 1 と違って 49 手目までは一本道。さて収束は？と考える。

★真面目に玉を 1 周させたら、それだけで指定手数に達してしまうので、どこかで 51 に還元させるか、玉の軌道が変わるかのどちらか。しかし前者の道を探ってみると、どうしても補給する歩を限定出来ない。よって後者が有力と判断する。

★暫く思索した末に気付いたコースは、50 手目を 87 玉とし、99 と/97 で落ちていると金を拾い、以下斜めに上って行く順。殆ど中央に駒が無いのに、ちゃんと見えないルールが敷いてあるのが面白い。

★最後は空白になっていた 52 と 32 にもピースがはまってフィニッシュ。

★長 1 と比べてしまうと…ですが、巧く出来ているには違いない。

長編部門が難解作ばかりだとそれはそれで問題ありなので、A。

☆ウグイスは意図的で正解です。さすがですね。

北村太路「ちょっとでも長いのを！あわよくば一周したい。ということで作りはじめました。安い駒ホケイキョウで作り始めました。枠からはみ出たがる玉の扱いに苦労して、なんとか限定になったところで力尽きました。あまり棋力がないので、長いのはうまくつくれないです。完全に一本道が 50 手くらい続くので、実質 10 手数詰。いや、その 10 手数もこうしないと絶対詰む形にならない、といったものなので、読むところは全然ないですね。手順を書くのが一番の難関(疲

れる) な気がします。これくらい簡単じゃないと自分で解けないですし。」

☆65手ならまだまだです。ギネスは291手ですから。

もず「ぱっと見はどうやって収束するのかわからなかったのですが、と金を取って斜めに突っ切るのはなるほどでした。B」

☆なるほど

.....

【解答成績・総評】

北村さんには申し訳なかったですが、七郎さん作がトップでした。作者の評価はそうでもないというのが面白いところですが、これくらいが解答者が楽しめるレベルなのかな。七郎さんの気合いの一作は駒井さんや市村さんクラスでないと太刀打ちできないでしょうね。きっと

【総評】

橋本孝治「なし …というのはだめですか？自作もあまり気に入っていないので…」

若林「どうしてもお気に入りには長1となってしまうですが、長2のような作品も楽しいですね。」

隅の老人B「お気に入り：長1」

伊達 悠「長編お気に入り作；2番です（今回もこれしか解いていない）。何回見ても面白い追いかけっこ。」

小峰耕希「長編部門は①神無七郎さん作を1位に推します。」

北村太路「長編：1番 正算でやって作れるとも思えないし、どうやって作るんでしょうね??」

もず「長編：1番」

【解答成績】

解答者名	1	2
橋本孝治	○	○
若林	○	○
隅の老人B	○	○
伊達 悠		○
吉川慎耶		○
小五郎		○
橋 圭吾		○
小峰耕希	○	○
北村太路	△	○
もず	○	○

△ はFM使用解答

解答者数 8名 うち全題自力正解者 5名

☆ 全題自力正解者は5名でした。北村作のおかげで長編解答数が増えたのはよかったよかった。

【お気に入り投票・結果】

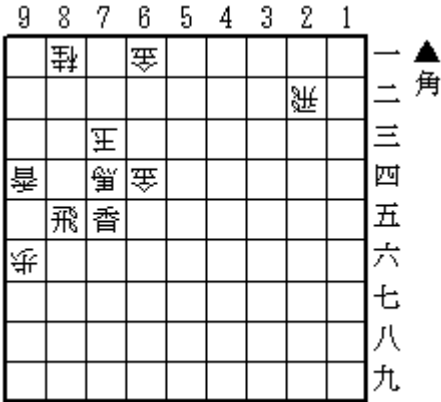
今回のお気に入り投票は投票総数……6

順位	No.	作者名	投票	無	A	B	C	平均点
1	1	神無七郎	5	5	5	1	0	2.83
2	2	北村太路	1	0	1	6	0	2.14

アンデパンダンの部

ア1. 伊達 悠 作

アンチキルケ打歩ばか詰 9手



【解答成績】

自力正解者・・・8名

【詰手順】

95角 84歩 同飛/28飛 82玉 88飛 85馬

72香成 91玉 92歩 迄

【解説 (のようなもの)】

詰備会期待の新生・伊達君のデビュー作です。31日のぎりぎりまで修正していましたが無事発表できてよかったよかったです。

何故かデビュー作がアンチキルケ打歩ばか詰ということです。私はまだこのルールで創ったことがないのですが、ポイントは歩の入手方法と詰上がりでしょうか。初手 95角からの歩の入手は考えられるところですが、28に復活した飛車が再び8筋に帰ってくるところなどはなかなかの感覚です。その後の馬の移動合いからの収束も飛車筋を消す 72香成もいい味を出しています。解答者の短評を参考に今後のますますの活躍を期待し

ます。

【短評】

橋本孝治「歩の入手も、端玉での詰型も「打歩」の基本通り。やはり初めて出題するルールはこのくらいが良いですね。」

☆基本なんですね。勉強になるね

若林「最初に読む3手で歩を取ってしまう手順が作意では今ひとつ。何か歩を取る前に序を入れたいところ。」

☆歩の取り方に工夫を考えるのが今後の為のいいアドバイスです。ちなみに若林さんのこのコメントのあとにこんなのはどうでしょうと～作品がありました。数不足の為さっそくそれを第6回に頂いていますのでこちらご期待！

隅の老人B「再度の飛の利用、応えて馬の移動合。巧みな出来ですね。」

☆解答実力者も褒めてます。よかったよかった。

伊達 悠「紛れが皆無に近く、申し訳ない……………」

☆いやいや好評でしたよ

小五郎「75香の意味を考えてやっとの思いで打歩詰になりました。」

☆ふふふ

小峰耕希「最初取っ掛かりが見えず91角とか考えてしまったが、「打歩」だったのを思い出したら解を発見出来た。作者も試みたかも知れませんが、3手目も不成にしたい気がする。同世代の作家大歓迎！」

☆本当にこれからが楽しみな若者たちです（と言っている私はもう…………）

北村太路「飛車を横に滑らして使うのが気持ちがいいです。(FM使用)」

☆私も5手目の感じが好きです

もず「91角 82歩 同飛/28飛 同飛/82飛のような手順を考えてしまいうまく筋に入らずに苦しみました。

わかってみれば素直な手順です。」

☆この順も作品化できそうですね

ア2. たくぼん 作

アンチキルケばか詰 11手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
									▲香
					馬				一
									二
						香			三
									四
					玉	香			五
						馬	玉		六
									七
									八
									九

【作者一言】 中途半端で数合わせ。

【解答成績】

自力正解者・・・9名

【詰手順】

19香 18成桂 同香/19香 18馬 同香/19香 28玉
64角 19玉/51玉 63桂 41玉 42角成 迄

【解説 (のようなもの)】

31日に伊達君から打歩物が届きアンデパンダンが1つになるため慌てて10分で創った作品。こんなのを發表するようではいけませんね。難しい太郎さん作も短編の部にあったため、本当に中途半端な印象しか残りませんでした。

唯一、64角の感触だけはよかったようです。

【短評】

橋本孝治「桂を持駒にして9手の飛角図式でも良かったと思いますが、何か狙いがあるのでしょうか？」

☆そっちだったか・・・言われてから気付いたけど

若林「短5より手順に主張を感じて好きです。」

☆不思議な気分です

隅の老人B「短5のお陰で、こちらは楽勝。それでも、64角打は小考でした。」

伊達 悠「角の限定打の味が良いですね。もう少し発展が利きそうな気がしますが。」

☆鋭いが・・・伊達君が実は原因なのでした

吉川慎耶「限定打の発見に感動！」

小五郎「短5. で考えられる限り考えたので、こちらはすんなりと。成桂と馬の配置がうれしいヒントになりました。」

小峰耕希「7手目角の打ち場所に若干の新味あり？」

北村太路「飛角が全部盤上にあって、玉が1七で、攻方が持駒香のみ。さて、太郎さんのとは違いは。こちらは盤上の駒を取って詰め上げる。復活をわざとさせるためには6四角が限定打になるんですね。なるほど、なるほど。」

もず「短5を解いた後だったので楽でした。成桂はと金ではだめでしょうか。」

☆なるほど！それもあったか・・・

.....

【総評】

今回はアンデパンダンらしいという作品はありませんでしたが、伊達君のデビュー作が展示できて一安心です。第6回も打歩がありますのでよろしくお願ひします。

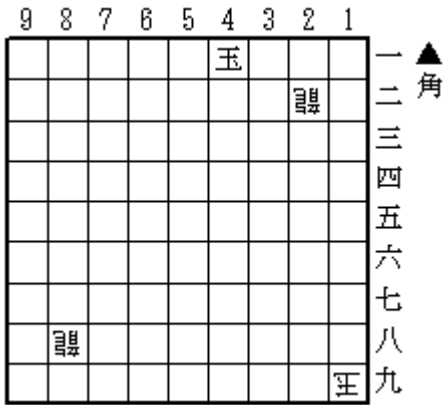
【全題正解者】

橋本孝治、若林、隅の老人 B、伊達 悠、小五郎、橋圭吾、小峰耕希、もず

PWCの部

PWC 1. 太郎@神無一族 作

PWC ばか詰 5手



【解答成績】

自力正解者・・・9名

【詰手順】

82角 同龍寄/22角 55角成 28龍 同馬/55龍 迄

【解説 (のようなもの)】

全体的にバラっとした配置ですが手順はさすがというものを見せてくれる太郎さんの小品です。合駒が取れない為、龍を移動させての28馬を狙うことになります。初手82角がわざと龍に取らせて角の位置変換を狙う限定打。ここでどちらの龍に取らすかが悩み所です。どちらでとっても3手目55と出ることになるのですが、5手で詰ますには55に行くのは馬でないといけなわけです。ということで2手目は可成区域の22龍に取っ

てもらうのが正解でした。角と龍の位置を交換しつつ玉に近づいていく角がユーモラスでもあります。短い手数ながら作者の主張を見事に表現した5手詰と言えるでしょう。

そして気になるのは41玉の存在。無ければ言うこと無しなのですが、初手91角が成立しては致し方なし。王位置は61でも可で私なら61玉派かも・・・玉方91角派は紛れが消えてダメですね。

【短評】

橋本孝治「復活時に成不成の選択は行えない」という性質を活かした短編。逆王手防止の41王が残念。」

☆この性質紹介のの古典となりえる図ですね

若林「端正な形。古典になりますね。初手91角はセルフチェック。」

☆初手91角でも楽しめます

隅の老人B「ルールが変わるで、また苦戦。老人は頭が固くて困ります。」

☆PWCは未だによくわかりません。(主催者がこんなことじゃ～)

吉川慎耶「自玉はなぜあるのでしょうか？」

☆上の解説を読んでね

小峰耕希「2手目の選択と表記に一瞬迷った。手順は角が成れるように、表記は「左」にしました。ただしPWCなので、「引」との区別を書かなくとも、角の復活場所をちゃんと書けば通じそうですが。」

☆お～なるほど確かにそうですね

北村太路「どっちでもよさそうで、実は決まっている。」

☆かしこじゃないのでその通りです

もず「この対称的な形だけで十分ですね。成が必要という意味付けで2手目が限定されるのがうまいと思

ます。」

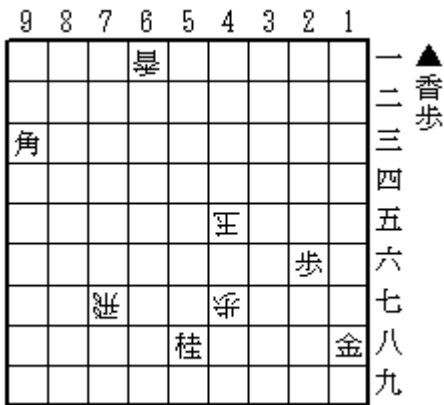
☆太郎さんらしい作品です。太郎さんと私は作者当てであれば簡単に当てられそうです

伊達 悠「盤に並べていると、あまりに駒が動いて目が回りました (笑)。」

☆4番に比べれば全然！

PWC 2. 北村太路 作

PWC ばか詰 5手



【解答成績】

自力正解者・・・9名

【詰手順】

46 香 36 玉 37 歩 同玉/36 歩 48 角成 迄

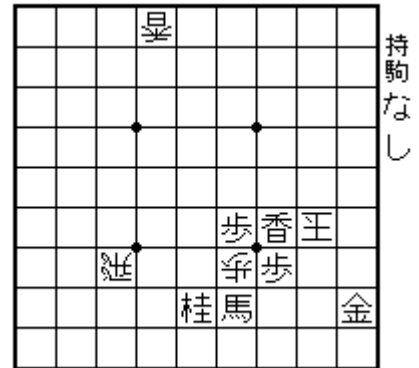
【解説 (のようなもの)】

新手筋発掘といえば北村さんですが、またまた新手筋 (北村手筋はもう使えないか?) を発表です。PWC が苦手な私は意味付けを理解するのにかなり考え込んでしまいました。

この作品のポイントは香が先か歩が先かの1点だけです。香と歩が持駒にあつたら香から打つと言うのはマニアだけですので、とりあえず歩から打って作意ど

おり進めてみますと、あれっ? 同じように48角成まで詰んだように見えますね。しかしここから～

26 玉/37 歩まで逃れ (逃れ図)



こんな逃げ方があるとは参りました。しかしここで良く見ると36香が歩が変わっていたら2歩の為この逃れ順が成立しないのですね。よって初手は36香となる訳です。パチパチ。

これも1番同様、古典になりうる作品です。

【短評】

橋本孝治「出た！ PWC 版香先香歩。PWC にも新手筋が眠っていることを教えてくれる作です。」

☆アンチキルケに続き PWC でも新手筋発見の北村さんに足を向けては寝られません。どこにお住まいかはわかりませんが・・・

若林「何故香からでない駄目なのか、かなり考えてしまった。」

☆私も全く一緒です

隅の老人 B「これは一目。香の限定打が良い手かな。」

吉川慎耶「二歩禁を利用して限定された詰上り。」

小峰耕希「角成迄の詰上りに気付けば解けたも同然の筈が、打ち順が限定されている事に暫く気付かず、首

を捻ってました (^_^ ;)

北村太路「言うまでもなく香先香歩。二歩回避のための香先香歩は一般的だと思うのですが、二歩誘致のための香先香歩はあまりないかな、と。」

☆はじめて見ました

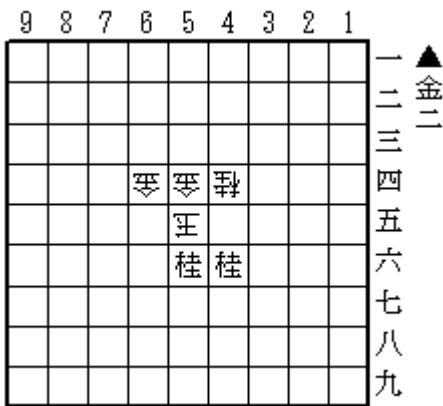
もず「二歩禁を利用した香先香歩とは、PWCで新たな手筋を開拓しましたね。手順は見えやすいですが逆に手筋を際立たせていると思います。」

☆同感です

伊達 悠「香先香歩は一目瞭然ですが、そのあとがなかなかわかりませんでした。」

PWC 3. 若林 作

PWC ばか詰 7手



【解答成績】

自力正解者・・・6名

【詰手順】

45 金 65 玉 55 金 74 玉 65 金 同玉/74 金

66 金 迄

【解説 (のようなもの)】

超難解作の登場です。若林さんのコメントに相反し

て超強力解答陣が軒並み苦しみました。正解者6名。詰パラにでも出してみたかったですね。

これっという狙いが読み取れないのでとりあえず駒を動かしてみると、PWCらしい65金 同金/64金 54金/64金～や66金などに手が動き本筋がなかなか見つかりません。

作意は全くの無筋の初手45金から玉を74まで逃がす順で、解けてみれば気持ちよい順ですが、玉が74に行くというのが7手という手数と相まって指しにくくしたようです。先に解答を見てしまったため解図していない私はなぜかホッとしています。(コラ！)

【短評】

橋本孝治「桂を動かす紛れが多い上、作意が遅く見えるのでかなり苦戦しました。」

☆この作意は見えにくかったようです

若林「まだ例題気分だったけど、既に物足りないかな。」
隅の老人B「盲点に填って、延べ3日。7手詰思考時間の新記録。」

☆隅の老人Bさんがこれだけ苦戦とは恐るべき作品でした。答え見てよかった～

北村太路「じっと4手かけて寄る手に思い至りませんでした。4手目7四玉が参考になる逃げ方です。(FM使用)」

もず「なぜか非常に苦勞しました。都で詰むと思ってしまったからかもしれません。」

☆そう思わせる形ですね。曲詰？って思ってしまいました

伊達 悠「どんどん長くなっていますね。一度こういうのを作りたいものです。」

☆強い！

PWC 4. 北村太路 作

PWC ばか詰 7手

9	8	7	6	5	4	3	2	1	
							▲		▲なし
									一
									二
									三
									四
						王			五
			銀	龍	龍				六
			金	桂				龍	七
			桂						八
						香	角		九

【解答成績】

自力正解者・・・8名

【詰手順】

36 香/39 銀 同玉/35 香 47 銀/56 飛 同銀生/46 銀
47 金/57 銀 同龍/17 金 同角/29 龍 迄

【解説 (のよなもの)】

PWCに弱い私は、この手順を見ても頭の中で盤面が再現出来ません。う～ん頭が固いというか・・・2番で新手筋を見せてくれた北村さんが全手順 PWC とういかにもこれぞ！PWC という作品を投稿してくれました。

合駒が出なければ駒位置を交換しつつ詰上型を模索するというのが一つの解き方です。必ず同型というのがヒントですね。25 が空いているので 47 角までの詰上がりを実想出来ればそれに向けての手順構築で楽しめませぬ。

ポイントは 47 への玉方の駒の利きを外す舞台づくりです。手順前後の綾もあって解答者の皆さんは楽しめたようです。

合駒・持駒のない PWC＝駒の入れ替えパズルと言えるの

で、PWC ばか詰の 1 つの分野として確立しそうです。

【短評】

橋本孝治「詰上りは予想通りでしたが、3手目で手順前後。うまく第一感を外されてしまいました。」

☆詰上りを想定するのも慣れていないとなかなか難しいです

若林「傑作ですね。この配置で全手順 PWC。当然初形と収束が同型。」

☆今回の 4 作どれも傑作でした

隅の老人 B「これだけ駒が入れ替わると、目が回る。考える楽しみ？、いや苦勞です。」

☆苦勞・苦勞・苦勞です

吉川慎耶「思い通りにことが運ぶ。」

☆人生はこうありたい

北村太路「折角 PWC なので位置交換を全面に押し出してみたつもりです。解答を書いてみてわかったのですが、交換が多いと記入に疲れる！（笑）」

☆ふふふっ

もず「初手を 46 金/57 銀から考えたため詰み形が見えませんでした。作意はやりたいことがはっきりしていて面白い手順でした。」

☆楽しんで頂き何よりです。

伊達 悠「おー全手順が交換ですか。」

☆おっさんみたいな言い方ですね

*

☆初の PWC ばか詰展、いかがでしたでしょうか？内容の濃い 4 作でいきなりのハードルの高さにビックリされた解答者も多かったと思います。これから先どうなるか全く分からない PWC ばか詰ですが、何か集まり次第開催するとうことで行きたいと思っています。皆

さんの投稿よろしくお願ひします。

.....

【総評】

橋本孝治「こうして見ると短編の PWC ばか詰も意外といけますね。投稿があったら出すという感じで良いですから、PWC ばか詰の常設コーナー化を希望します。」
☆今のところその予定ですが、PWC が苦手な私ですので出来ればどこかで引き取っていただければ助かるのですが・・・

もず「今回から始まった PWC はまだこれからという感じなので、いろいろ開拓する余地がありそうです。」

☆私も創ってみたいと思います

【解答成績】

解答者名	1	2	3	4
橋本孝治	○	○	○	○
若林	○	○	○	○
隅の老人 B	○	○	○	○
伊達 悠	○	○	○	○
吉川慎耶	○	○		○
橋 圭吾	○	○	○	○
小峰耕希	○	○		
北村太路	○	○	△	○
もず	○	○	○	○

△はFM使用解答

解答者数 9名 うち全題自力正解者 6名

なかなかの難解さがあったと思いますが全解者6名はさすがです。解けない作品があっても解答を送って

感想を書いていただいた方々にも感謝申し上げます。

.....

【総評】

橋本孝治 (2/4 21:04)

「今回も PDF 版を印刷して、それを見ながら解きました。結果稿の PDF 版も見たいです。」

☆今回とりあえず作成してみました。どうでしょうか？

若林 (2/6 18:03)

「収束がどうしてもばか自殺詰に比べて弱くなるアンチキルケばか詰ですが、それでもなかなかいけますね。今回の作品群で改めて思いました。PWC もオンラインでの発表場所として続くと良いですね。」

☆ありがとうございます。頑張ります。

隅の老人 B (2/16 12:46)

「懸命に考えて、解き終わったら、今日は17日過ぎ。おかげで、詰パラは手つかず。2月は逃げるとか、さあ頑張って詰パラに挑戦。」

☆2月は私も積み残しが出てしまいました。残念

伊達 悠 (2/19 14:14)

「また、長1は結局できませんでした。よって、FMを使ったのは短4のみです。いやーなんとかできてほっとしました。次は詰パラを解いてい.....ぎゃ————つ。」

☆伊達君は何回かに分けて送ってくれました。このコメントは25日分です

吉川慎耶 (2/24 23:32)

「解図力が低下していて、全然解けないです。次回こ

そは全解を！（無理か…）」

☆解図は根気でしょうね、がんばれ～

小五郎（2/25 0：17）

「解けた分だけ解答送ります。よろしくお願ひします。」

☆その気持ちだけでも感謝です

橘 圭吾（2/25 5：06）

「手をほとんど出してない二作が無解答。残念…。

例によって短評はなしです。」

☆感想も出来ればお願ひしますね

小峰耕希（2/25 10：22）

「そろそろアンチキルケ展に復活登場しようと思ったものの、ネタ切れに陥っているので3手詰飛角図式でごまかしましたが、あの配置で課題が不成では解答者からの厳しい意見が予想され…。

★短編部門は前述の通り殆ど解けなかったので、解答編を楽しみにしてます。

★長編部門は感想を一言で書けなかったため、長評になってしまいました。こういう解説文と被りそうな長文はもっと早く送るべきだったでしょうか？長編アンチキルケは短編に比べて未開拓であるせいか、とても面白かったです。

★アンデパンダン両方共筋が読める作品だったので全解出来ました。これからも、「評価しろ」と言われると困る好作（変な表現か？）を期待します。

★PWCはついでに眺めた程度だったので、余り解けませんでした。

★そういえば今回の OFM 出題は長編 PWC。難しそうですが、初形を見ると面白い事が起きそうな配置ですね。

3月に入ったら頑張ってみようかな。

★ついでに書きますが、アンチキルケ展の解答成績とは裏腹に、パラは1月より多く解けました。まあ先月は中旬からの解図開始だったので、他の月より短いとはいえ、1ヶ月間考えれた今月とは単純に比較出来ませんが、詰備会の解答も出しますよ～（多分全解出来たと思います。）」

☆小峰さんそろそろ作品の方もよろしく

北村太路（2/25 21：11）

「全然自力で解いていませんが。」

☆感想だけでもとても参考になります。今後ともよろしく

もず（2/25 23：06）

「1つ解けなかったのが残念ですが、このくらいが分量としてはちょうどいいのかもしれない。」

☆6回は3作増です・・・あわわ